

もくじ

- ・ ある もみのきの ものがたり

ある もみのきの  
ものがたり

げんさく： アンデルセンどうわ

イラスト： かつなが みつとし

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

3

とある まちはずれの もりに、  
いっぼんの ちいさな もみのきが  
はえていました。

その もみのきの まわりには、ととつた  
りっぱな もみのきや、わかい せのたかい  
もみのきが たくさん ありました。

ここは ひあたりも よく、  
ときおり すずしいかぜも ふいて、  
とても いごこちが よさそうです。

あるひ、この ちいさな もみのきの うえを、  
いちわの うさぎが  
ぴよんと とびこえていきました。

「もう、ただよ。

ぼくが ちいさいとおもって ばかにして。  
あ～あ、はやく おおきくなりたいなあ」

ちいさな もみのきは まいにちのように、  
じぶんより おおきな もみのきを、  
うらやましそうに みあげていました。



5

クリスマスが ちかづいてくると、  
まちから ひとが たくさん やってきて、  
おおきな もみのきを おので きりたおして、  
もちかえっていきました。

ちいさな もみのきは、えだに とまっていた  
すずめに たずねました。

「ねえ すずめくん、にんげんたちは  
あの もみのきを どこに  
はこんでいくんだい？」

「あれは まちに はこばれて、  
クリスマスツリーになるのさ。  
いろとりどりの かざりや、ろうそくの あかりで  
キラキラして、とても きれいなんだよ」

ちいさな もみのきは、はやく おおきくなって、  
じぶんも すてきなクリスマスツリーに  
なりたいと おもいました。

